

令和3年度第2回千葉県男女共同参画推進懇話会 開催結果概要

- 1 日時 令和4年1月20日（木） 午前10時00分～午前10時55分
- 2 場所 千葉県庁議会棟1階第1・第2会議室
Web会議（Zoom利用）
- 3 出席者 萩原委員（座長）・鈴木委員・寺口委員・山崎委員・依光委員・中谷委員・
中島委員・渡部委員・永嶋委員・實川委員・高橋委員

※以上11名

4 議事の概要

(1) 協議事項

ア 「第5次千葉県男女共同参画計画」の評価方法について

事務局から説明

資料1-1～1-7に基づき、「第5次千葉県男女共同参画計画」の評価方法について、説明が行われた。

- 資料1-1 第5次千葉県男女共同参画計画の評価方法について
- 資料1-2 第5次千葉県男女共同参画計画の評価体系
- 資料1-3 第5次千葉県男女共同参画計画に位置付けた指標一覧
- 資料1-4 第5次千葉県男女共同参画計画 指標評価シート
- 資料1-5 第5次千葉県男女共同参画計画 事業評価シート
- 資料1-6 計画評価専門部会の評価結果
- 資料1-7 千葉県男女共同参画計画の評価フロー

資料の説明後、欠席の有馬委員から届いた意見について、事務局が代読を行った。

(有馬委員からの意見(事務局が代読))

(本日、所用により欠席の有馬委員からの御意見が届いていますので、代読します。)

第5次男女共同参画計画の評価方法について、計画評価専門部会長ということで、過日、事務局より事前に説明をいただいた。本日は所用により欠席しますので、書面にて私の意見を述べさせていただきます。

千葉県では平成18年12月に千葉県男女共同参画計画（第2次）が策定され、その計画

の推進に当たり、計画評価専門部会の設置等が明記され、以来、今日まで評価方法を工夫しながら、15年間評価を実施してきた。

長きに亘り、本県の男女共同参画計画の評価に携わらせていただき、委員の皆様とともに、この地道な作業を積み重ねてきたが、男女共同参画の進展に一定の寄与ができたのではないかと思う。

第3次、第4次計画の評価の成果としては、事業評価の対象を、第2次の全事業の事業内容から重点的取組の事業内容に絞り、事業所管課と対面で意見交換をする方法に変更したことで、現場の状況がより具体的に伝わり、成果を出すための提案や困難さの共有等もできるようになった。また、評価専門部会を7月頃実施することで、必要な予算要求もできるようになり、計画の基盤である事業がしっかりとしてきたのではないかと思う。

これまでは、評価の対象を事業内容にフォーカスしていたため、事業が男女共同参画の視点で実施できたか、事業の進捗状況と成果及び改善点はどうかといった視点で評価してきたが、個別事業が、計画全体の目標や基本的課題にどのように寄与したかという視点での評価までには至っていなかったように思う。

また、事業所管課におかれては、これまで、男女共同参画社会の実現のために評価を積み重ねていただいたこと、これは、決して容易なことではなかったと思う。5年、10年と事業に取り組んでこられて成果を維持されつつも、今後は、事業によっては、更なる1%、2%の向上の達成に苦慮される場合もあるかと思う。

事務局から提案された第5次計画の評価方法では、これまでの評価の成果を踏まえつつ、評価の主軸を事業内容から計画進捗（指標）に移すという新たな評価方法は、私は良いと思う。

また、「指標評価シート（資料1-4）」は事業の進捗状況を、グラフを通して見える化することになるので、事業所管課の自己評価においても、外部評価においても意味あるものであり、この点を高く評価したいと思う。

「計画評価専門部会の評価結果（資料1-6）」には、専門部会における委員意見を書く項目があるが、委員の皆様方には、今後は、指標とそれに紐づく各事業の評価の結果が、計画全体に、どのように影響したかについても、有益な御意見をいただければと思う。

意見交換

(萩原座長)

ありがとうございます。

ただ今の事務局からの説明に関して、御意見、御感想等お願いします。

(實川委員)

県議会議員の實川です。よろしくお願いします。私からは1点質問させていただく。

計画の推進を図るために、指標に着目した評価方法とすることはわかったが、そこでお伺いしたいと思う。先ほど事務局から4年間で31指標を一通り評価するとの御説明があったが、計画期間の早い段階で目標を達成し、順調に事業が進んでいるものについても、評価していくのかお尋ねしたい。

(事務局)

年度毎の指標については、進捗状況が良くないものを優先的に選定するというのを基本的には考えているが、目標を達成したものについても、今後その指標の数値を更に向上させていくということのために有効な手法等について、委員の皆様からも御意見をいただいて、今後の事業の取組に活かしていきたいと考えている。

(實川委員)

ありがとうございます。大変良く分かりました。

私も、進捗状況を踏まえて、事業を改善していくことが、計画を推進していく上でも必要と考えているので、当会議での意見を踏まえながら進めていただきたいと思うので、よろしくお願いします。

(萩原座長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

(中島委員)

中島です。よろしくお願いします。私からは、一点、取扱いを確認させていただきます。資料1-6で説明をされたと思うが、5年に1度の調査とか、3年毎の調査とかがあると

思う。それらの指標の評価については、最終年度に扱うことになるのか。それらの指標の評価の取扱いについて伺いたい。

(事務局)

指標によっては、調査結果等の関係でどうしても何年かに1度に結果が出る指標もあり、それらの指標については、指標の数値結果が出た早い段階で外部評価を実施するという事を考えている。その数値がなかなか直ぐに出ないが、直近の数値があまり良くないので、早い段階で評価をした方が良いのではないかという御意見があれば、直近の数値を使って外部評価を実施するという事も考えている。

(中島委員)

わかりました。ありがとうございます。

(萩原座長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

(依光委員)

私からも一つ質問をさせていただく。先程、資料1-1で説明があったと思うが、計画評価専門部会で評価するものと、評価しないものに切り分けられるという説明があったと思う。例えば、計画評価専門部会で評価しないものについては、どういったものがあるのか。

(事務局)

計画評価専門部会で評価しないものというのは、資料1-1の「3 第5次千葉県男女共同参画計画における評価方法について」の(2)に記載しているが、計画評価専門部会で評価していただくものは、31指標とそれらに紐付く60事業となる。計画に位置付いている事業は、当然に重要なものばかりであり、外部評価していただく60事業以外の205事業については、自己評価をすることになる。

計画評価専門部会で評価するものを60事業とする考え方については、最初の説明時からの繰り返しとなってしまい恐縮だが、計画における指標を向上させていくためには、それに関係する60事業を改善させていくという視点の下、それら60事業について指標と併せて外部評価していただきたいと考えている。

(依光委員)

資料1－3に記載の31指標とそれらに紐付く60事業を外部評価の対象とし、それ以外の205事業も重要であるが、205事業については自己評価していくという切り分けの考え方でよろしいか。

(事務局)

良い。

資料1－2の右ページに記載のある31指標とそれらに紐付く60事業を外部評価していただくことになる。例えば、資料1－2の右ページの指標の3枠目に、「県の審議会等における女性委員割合」という指標があるが、紐付く事業が右に記載してある。この事業（「県が設置する審議会等への女性登用促進」事業）を改善するための御意見をいただくことで、指標を向上させていく。

(依光委員)

ありがとうございます。よく分かりました。

(萩原座長)

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

(高橋委員)

高橋と申します。1点お伺いします。

資料1－1に記載の評価する指標の選定方法について、「全31指標のうち指標の進捗状況が良くないものを優先的にしつつ」ということで、さらに「4年間で全31指標を一通り評価できるよう、原則、年度ごとに異なる約8指標」というところだが、例えば極端に指標の進捗が思わしくないものについては、評価する年度を続けてということではないが、例えば1回評価した後に1年空けてもう1回評価するような方法で、指標を向上させていくといった方法は想定しているのか。

(事務局)

「4年間で全31指標を一通り評価できるよう、原則、年度ごとに異なる約8指標」と説明させていただいているが、高橋委員が仰る様に、指標によっては進捗状況があまり思わ

しくないものもあると思うので、それを1回評価した上で、その後どう向上していったのかというところは、隔年などで見ていただく必要もあると思うので、今回の御意見は計画評価専門部会長と相談しながら、1回の評価でなく2回や複数回等、見ていただくようなかたちで考えたい。

(高橋委員)

わかりました。ありがとうございます。

(萩原座長)

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

(渡部委員)

経営者協会の渡部です。

例えば、資料1-3の指標番号7「子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合」の評価を考えた場合、資料1-2の右ページの赤枠2つ目に指標「子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合」があり、その右側に関係事業として、「保育所等施設整備の助成」等の4事業がある。指標「子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合」の下には、指標「保育所等待機児童数」があり、その右側の関係事業では、指標「子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合」と同じ4事業が関係付けられている。

資料1-3に戻ると、指標番号7「子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合」については、進捗率が目標達成となっているが、指標番号8「保育所等待機児童数」については、先程の資料1-2では同じ4事業が紐付いていたが、進捗率については48.6%と半分以下となっている。どちらの指標も同じ4事業が紐付いていながら、片方は目標達成、かたや半分以下の進捗率という結果だが、この辺の評価の仕方についてお伺いしたい。

(事務局)

渡部委員の御指摘があった様に、資料1-3を見ると、同じ関係事業が紐付いていながらも、かたや目標達成している指標と、かたや目標未達成の指標が混在している。この場合は、これらをどのように評価したら良いのかという御質問です。

正に今、例示で挙げていただいた指標を例に説明をさせていただく。まず、指標番号7「子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合」については、アンケートで調査しているところであるが、アンケートに答えていただいた方が、総論として「子どもを生き育てやすい」環境にあるという部分の、個人の主観・感想となっている。そして、「子どもを生き育てやすい」環境の各パーツである例えば待機児童数については、保育所等の整備であったり、物理的な問題に伴って生じる実態・実績値としての数値であると考えている。

そして、こうした待機児童数であったり、様々な個別の指標がそれぞれ向上して、最終的には、「子どもを生き育てやすい」というふうに感じていただける方は多くなると思っている。つまり、総論としては「子どもを生き育てやすい」と感じているけれども、各論において、物理的なものとしてやっぱりやっていかなくてはならないもの、こうしたものが指標の中には混在している。その明確な関係性というのは、今申し上げた様に、それぞれの個別の指標が良くなれば相対的に上がるが、個別の一つがちょっと悪くても、相対的なものとして、「千葉県は子どもを生き育てやすいな」と感じていただけることも事実なので、その辺は指標の性質によって、多少異なってくると思う。少し長くなりましたが、説明としては以上です。よろしくお願いします。

(渡部委員)

わかりました。ありがとうございました。

(萩原座長)

ありがとうございます。皆様、他には大丈夫でしょうか。

先程、有馬部会長からの意見もあったが、15年間、この評価について色々検討しながら、より良い評価ができるように努力されてきた結果が、今度の第5次につながっていると思う。また、評価については、私達も非常に苦勞するところだが、今の説明にあった様に、定性的な評価と、定量的な評価をどのようにきちっと見ながらしていくのかということがすごく重要になってくるかなと思う。今回、プロセスを重視して、進捗も重視していくというところもとても大事だということで、期待できると思う。

それから、自己評価のところでは、事業所管課が面倒くさいと思われるのではなくて、これだったら評価しやすいなど、積極的に自己評価していただく面でも、今回の評価シートで改善されているなというふうに思う。また、評価するところで、事業所管課同士が連携しながら、より良いものにしていこうという機運が高まっていけると良いなど、私は非常に

思う。

皆様、ありがとうございました。色々な御意見・御質問をいただきましたが、これを反映していただければと思います。

(萩原座長)

それでは、続きまして、次の議題に移りたいと思います。

(事務局)

失礼いたします。先程、寺口委員も手を挙げられておりましてお願いしたいと思います。

(萩原座長)

ごめんなさい、失礼いたしました。それでは、寺口委員お願いします。失礼いたしました。

(寺口委員)

千葉県看護協会の寺口です。今、萩原座長がまとめて下さり、私が申し上げたいことが入っておりましたので、どうぞよろしく願いいたします。

(萩原座長)

大変失礼いたしました。

それでは、次の議題に入りたいと思います。

(2) 報告事項

ア 「令和3年度 千葉県男女共同参画白書」について

事務局から説明

(萩原座長)

ありがとうございます。

ただ今の事務局からの説明に関して、御意見、御感想等お願いします。

(特に無し)

(萩原座長)

よろしいでしょうか。

これからじっくり見て、また御意見等ございましたら、直接メール等で御連絡いただければと思います。どうぞよろしく申し上げます。

(3) その他

(萩原座長)

それでは、その他ということで、委員の皆様から、何か情報共有したいものなどございますでしょうか。

大丈夫でしょうか。

では、事務局から何かございますでしょうか。

事務局から議事録の確認等の連絡事項を説明

(萩原座長)

以上で、本日予定していた全ての内容を終了します。